

令和4年度の学校評価

<p>本年度の重点目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 充実した学習活動の推進 ○ 信頼され、人のために行動できる人材の育成 ○ 望ましい未来像設計（フューチャーデザイン）の啓発 ○ 健康で快適に学習できる環境づくり ○ 教職員の働き方改革の推進
-----------------	---

項目	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
行事企画部	<p>総務</p> <p>①PTA活動の円滑な運営と無理のない活動の推進。PTA会員の積極的な学校行事への参加。</p> <p>②防災に関する基礎知識を高め災害発生時に的確な対応・行動が実践できる人材の育成。</p> <p>③ホームページ、東高だより、きずなネットを有効に活用し、保護者・地域に対する広報活動の活発化。</p>	<p>①きずなネットによる発信により、保護者への周知度を高め、学校行事やPTA行事への参加率が高まるようにする。</p> <p>②シェイクアウトを含めた防災に関する避難行動様式の確立を目指す。学校生活のあらゆる機会を通して、防災・減災・ボランティア精神を養う。</p> <p>③広報媒体の質を高め、新鮮でアピール性の高い内容となるように工夫する。特に近隣住民に情報を伝え、関心を持ってもらえるようにする。</p>	<p>①学校からの連絡をきずなネットで発信した。また、保護者の負担軽減のため、欠席連絡もきずなネットを利用できるようにした。来年度は学校行事等においても有効に使用していきたい。</p> <p>②シェイクアウトを実施し、避難行動様式の確立を目指した。また、避難時に防火扉を閉めたり、時間帯を変えたりして様々な状況に対応できるよう実施した。保護者に対しては、きずなネットに登録してもらい、緊急時の連絡体制を整えた。</p> <p>③ホームページで学校行事の様子や生徒の活動など、タイムリーな情報を積極的に配信した。</p>
	<p>特別活動</p> <p>①部活動の最適化。</p> <p>②稲東祭の充実。</p> <p>③奉仕活動の推進。</p> <p>④広報活動の充実。</p>	<p>①部活動の活動状況を適宜把握し、学校の実情と生徒の希望を踏まえた最適な運用を行う。</p> <p>②生徒人数やクラス数に応じた企画を行い、多くの生徒が活躍の機会を得るように実施する。また、稲東祭実行委員会を中心に、意欲のある生徒の活躍の場を増やす。</p> <p>③交通安全マナーアップ作戦、学校周辺の清掃活動など、ボランティア活動を計画的に実施する。</p> <p>④「稲東だより」や、本校YouTubeチャンネルを活用し、本校や生徒の魅力を発信する。</p>	<p>①各部活動の活動状況と閉校までの活動の見通しを顧問に適宜確認し、閉校までの計画を予算も含めて議論し始めた。十分な結論は出ていないが、継続して議論していきたい。</p> <p>②稲東祭を、生徒の意見を多く取り入れたものに変更して実施できた。今年度は少人数でも盛り上がる企画であったと考える。</p> <p>③交通安全や清掃活動は例年通りに実施した。また、生徒会役員を中心に児童クラブでのボランティアも行った。</p> <p>④「稲東だより」は例年通りに発行できたが、YouTubeチャンネルは活用ができなかった。現在、生徒会の活動を発信することを計画している。</p>
生徒支援部	<p>生徒指導</p> <p>①生徒相互・教員と生徒で心の通う人間関係の育成。明るく活力ある学校づくり。</p> <p>②基本的な生活習慣と生活規律を確立し、人から信頼され、社会で役立つような社会性の育成。</p> <p>③教員と保護者が連携を密にし、家庭の協力を得ながら、組織としての指導の確立。</p> <p>④安心安全な学校生活の確保のため、見守りや被害防止の啓発の推進。</p>	<p>①個人面談を充実させ生徒理解を深めるとともに、道徳性・社会性を身につけさせる。</p> <p>②遅刻指導を徹底し、規範意識と基本的な生活習慣を確立させ、社会性を養う。</p> <p>③日頃の観察や声かけ、面談等により生徒の変化を見逃さず、教員間、保護者と共有し、保護者の協力を得ながら組織として指導に努める。</p> <p>④いじめ防止基本方針に基づき、組織体制で、いじめの根絶を目指す。また、貴重品の管理や教室施錠など、危機管理能力を身につけさせる。</p>	<p>①学校生活アンケートを面接週間前に実施し、アンケート結果を面接に反映させることで、問題に早期対応をすることができた。また、生徒個々の特性を会議で情報共有することにより、生徒個々に適した声かけや対応を行うことができた。</p> <p>②遅刻の防止については、遅刻者に対する論説とともに、早朝登校の徹底を行った。時間に対する意識を養うことで少しずつではあるが遅刻数が減少してきた。</p> <p>③保護者への連絡や対応は学年・担任とともに連携して対応できた。また、教師相互の情報共有と組織的な指導体制の構築は、会議で情報を共有する機会を持ち学年団の協力を得て達成できた。</p> <p>④いじめの防止は学校生活アンケートを効果的に活用し、いじめに対する早期対応を心掛けた。また、学校いじめ対策委員会を開催し、情報共有を行い、早期対応ができた。</p>
	<p>保健厚生</p> <p>①諸検診の円滑な進行。</p> <p>②教育相談体制の充実。</p> <p>③学習環境の整備・美化、ごみの減量、安全点検の推進。</p> <p>④心身の健康問題の早期発見・早期対応を図るための健康観察の充実。</p>	<p>①全学年同一日に実施するため、体育館、武道場を有効に活用し、コロナウイルス感染防止を考えながら、円滑に実施する。</p> <p>②各分掌とスクールカウンセラーとの連携強化のため、教育相談連絡会において該当生徒の支援方法の検討や話し合いを深め、情報についてフィードバックを行う。</p> <p>③学習環境美化とごみの減量を図る。新型コロナウイルス感染防止のためのごみの持ち帰りを啓発し、ゴミ箱は各フロア設置にする。人員減少による、清掃分担区域の統合を考える。</p> <p>④朝の健康観察を行い、未検温者や心身の健康問題の早期発見に生かすとともに、健康観察の事後措置（健康相談・保健指導等）を行うなど、実態に応じて創意工夫を図り、健康状態の把握に努める。</p>	<p>①諸検診については、生徒支援部員が協力し、スムーズに実施することができた。欠席者に対しても校医に依頼をし、日程を調整し、追加で検診を行った。</p> <p>②教育相談の方法に工夫を加え、スクールカウンセラーとの連携も密に取れ、個々の生徒への対応の検討を深めることができた。スクールソーシャルワーカーも活用し、生徒支援に尽力した。</p> <p>③ごみの分別と持ち帰りを働きかけ、ごみの減量をはかった。昨年度同様、教室のゴミ箱を撤去し、各フロアに2箇所設置した。</p> <p>④朝のST時に健康観察を行い、生徒の健康状態の把握に努めた。個々の生徒の一日の状況や週の状況がわかり担任が保健室利用の状況も把握できて連携がとれている。</p>

項目	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
教務	<p>①生徒の学習への取組意欲を高める魅力ある授業づくり。</p> <p>②生徒の学習意欲を喚起できる考查の実施。</p> <p>③図書館の充実。</p> <p>④校務支援システムの利用による教員の業務軽減。</p>	<p>①授業研究週間等を利用し、各教科へ言語活動や探究活動、ICTを取り入れた授業展開例などを提示し、授業方法・指導方法を共有できるようにする。</p> <p>②事前に生徒に評価方法を明示するとともに、考查時は教室の環境を整備を整える。考查資料の正確な作成に努める。</p> <p>③読書に親しみを持たせ、生徒の学ぶ意欲を喚起していく。</p> <p>④システムの操作方法についての現職研修を実施する。</p>	<p>①各教科で、探究活動やICTを取り入れた授業展開をしている。他校の取組や実践例を参考にしながら、より工夫した展開を充実させていきたい。</p> <p>②教科主任者会を中心に、多様な生徒に対応した評価方法を検討している。成績処理では生徒の評価結果等を複数の教員で確認している。</p> <p>③読書週間を中心として、興味関心を持たせることが大切である。総合的な探究の時間では、読んだ本の感想画を作成する新たな試みをした。</p> <p>④担当者を中心にデータ移行中である。年度末の指導要録作成に向け、準備中である。</p>
進路指導	<p>①望ましい将来像設計(フューチャーデザイン)の実現を目指した進路指導の確立。</p> <p>②進路検討会(3年)、補習等の充実。</p> <p>③生徒の適性に応じた試験制度の活用への推進。</p>	<p>①進路講演会・進路総合の充実を図り、進路の手引きを有効に利用していく。模擬試験・検査を適切に活用し、事後指導を充実させる。</p> <p>②進路検討会では、適切な資料を用い、テーマをはっきりさせた上で、活発な議論ができるようにしていく。積極的な補習等への参加を呼びかける。</p> <p>③生徒理解を深め、適性を考えた上で入試制度を活用する。就職や公務員試験に向けた指導も充実させる。</p>	<p>①1年生の入学段階より卒業までの高校3年間を見通した進路指導を心掛けた。進路の手引きを活用し、外部業者と連携しながら生徒の実態に合わせて指導した。</p> <p>②進路検討会は学年団の協力もあり、有意義なものになった。そのため、各担任の個別指導に貢献することができた。</p> <p>③日頃より学年団と生徒情報を共有して生徒の進路情報を綿密に交換した。概ね生徒の希望に沿った進路実現を叶うことができた。</p>
第1学年	<p>①基本的な生活習慣の確立。</p> <p>②学びの構えの定着と学習習慣の確立。</p> <p>③主体的な進路選択。</p> <p>④部活動、学校行事への積極的な参加。</p> <p>⑤学習環境の整備。</p>	<p>①時間を守る、挨拶をする、身だしなみを整えるなど、基本的な社会生活を丁寧に指導する。</p> <p>②授業規律を明確にして、統一した指導を行う。生活の中に学習を習慣づける仕組みを用意する。</p> <p>③卒業までを見通した進路指導を行う。基礎学力を身に付け、自分らしさへの気づきを積み重ね、キャリアをイメージさせる。</p> <p>④部活動や学校行事に積極的に参加させ、充実感や達成感を得られるよう指導する。帰属意識の醸成を図る。</p> <p>⑤教員が日常的な環境整備を率先し、日々の清掃活動を丁寧に指導する。</p>	<p>①多くの生徒が基本的な生活習慣が身につけており、前向きに学校生活を送ることができていると感じる。</p> <p>②毎日の授業については真剣かつ前向きに取り組んではいるが、日常的な家庭での学習が身につけていない生徒もいる。細かな課題の提示など、机に向かう習慣をつけさせていきたい。</p> <p>③総合の時間を活用して、文理選択や進路への意識を高めることができた。まだ進路を決めかねている生徒も多く、様々な機会を通じて情報を与え続けていきたい。</p> <p>④部活動に参加している生徒は一生懸命に取り組んでいる。学校行事の実行委員では多くの生徒が活躍した。人数が減る中で、行事を充実させる方策を、生徒とともに考えていきたい。</p> <p>⑤任された清掃の仕事に、しっかりと取り組む生徒が多い。今後も生徒に細かく声をかけながら清掃活動を継続していきたい。</p>

項目	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
第2学年	<p>①基本的な生活習慣の確立と集団規律の維持</p> <p>②学びの構えの定着と学習習慣の確立</p> <p>③主体的な進路選択</p> <p>④部活動、行事への積極的な参加</p> <p>⑤学習環境の整備</p> <p>⑥修学旅行の成功</p>	<p>①時間を守る、挨拶をする、身だしなみを整えるなど、基本的な社会生活を丁寧に指導する。</p> <p>②授業規律を明確にして、統一した指導を行う。生活の中に学習を習慣づける仕組みを用意する。</p> <p>③卒業までを見通した進路指導を行う。基礎学力を身につけ、自らの興味関心がある分野など気づきを積み重ね、キャリアをイメージさせる。</p> <p>④部活動や学校行事に積極的に参加させ、充実感や達成感を得られるよう指導する。帰属意識の醸成を図る。</p> <p>⑤教員が日常的な環境整備を率先し、日々の清掃活動を丁寧に指導する。教室掲示などのこまめな更新で正しい情報を生徒へ伝える。</p> <p>⑥達成感や充実感が持たせ、自己有用感を大きくむ</p>	<p>①多くの生徒が時間を守るなどできるようになった。一部の生徒が身だしなみを守らず、時間も守れないなどまだ社会に出ていく自覚が足りていないので粘り強く指導していく必要がある。</p> <p>②生活習慣の乱れから日中に寝てしまう生徒が一部いた。家庭と協力して生活習慣を正していくことで、授業により集中できたと感じた。</p> <p>③基礎力診断テストなどの結果が上がった生徒が多く、少しずつではあるが力をつけている印象がある。卒業後の進路については、まだ迷う生徒もいるので色々な考える機会を準備して与えていきたい。</p> <p>④部活動の人数が少ない中、合同チームなどを通じて他校の生徒とコミュニケーションをとるなど、今できることを精一杯努力している様子を見ることができた。閉校に向けて、どう最後まで頑張っていくかを生徒と共に考えていく必要がある。</p> <p>⑤少人数ローテーションでの掃除であったが、多くの生徒が与えられた仕事をこなすことができた。毎回同じことを繰り返すのではなく「よりきれいにしていくためには」と、考えて時間を使えるとさらに成長していくと考える。</p> <p>⑥学校行事や日常の中で様々な声掛けをした。自分の行動への感謝の言葉を受けて、自分の行動が役に立ったと感じ、行事への参加意欲が高まる生徒も多かったと感じる。しかし、最初の行動が起こせない生徒も一部いたため、もっと根本のところでの承認や声掛けが必要だと感じた。</p>
第3学年	<p>①自己有用感と自己肯定感を涵養する。</p> <p>②他者への尊敬と思いやりの精神を養う。</p> <p>③最高学年としての自覚を持たせる。</p> <p>④集団の規律を維持する。</p> <p>⑤主体的な進路実現を目指す。</p>	<p>①学校の中で、生徒それぞれが役割を見つけることができるよう働きかけ、経験を成長につなげる指導をする。</p> <p>②視野を広げ、社会を理解させることで、他者の存在を意識し、尊敬の念を育むよう指導する。</p> <p>③学校の模範として、充実した学校生活を送ることができるよう働きかける。</p> <p>④常に正しい身だしなみを意識させ、責任を持った行動ができるよう指導する。</p> <p>⑤多くの情報を発信して意識の高揚を図り、早い段階から準備を促すことで自信を持って試験に臨むことができるよう指導する。</p>	<p>①日常の表情から充実感を持って学校生活を送るとともに、自らがどのような形で社会で活躍していくかのイメージを持ちつつあるように感じる。</p> <p>②授業や授業外でも自ら進んで他者の助けとなるように行動する姿が見られる。その一方で、動き出しの鈍さを課題に感じる。</p> <p>③部活動や学校行事を中心に、最高学年として後輩を牽引する姿が見られた。</p> <p>④まだまだ教員からの声掛けを必要とするが、身だしなみを整えようとする意識は感じる。</p> <p>⑤担任や進路指導主事と面談を複数回重ねて、自らの進路実現に向けた準備を進めた。準備を行うことがまだまだ遅く感じるが、努力を見せた。</p>

学校関係者評価を実施する主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学びに向かう力を育て、学びを持続させるための授業改善について ・ICT機器の有効な活用について ・組織的運営による働き方改革について
--------------------	--